



ABCレポート

A Be Connection ~あべと皆様を結ぶレポートです~

としあき
あべ俊昭 県政報告 2022年 春季号 No.48

発行者/千葉県議会議員 阿部俊昭



2月定例県議会において あべ俊昭は公明党を代表して代表質問に立ちました、新型コロナウイルス感染症関連や新たな総合計画・医療・福祉・経済・防災減災・教育・環境等の多岐にわたる県内の課題について質問しました。冒頭、希望を持ち進みゆく県民の皆様「今はどんなに苦しくとも、明けない夜は絶対はない」との言葉を紹介し、エールを込めました。

SDGsの取り組みは世界市民として 県民一人一人の中に世界観を見いだせるチャンス!

公明党は、だれも置き去りにしない世界を創るためのSDGs17の目標を様々な県の施策や各種計画に位置付けてほしいと一早く訴えてきました。

代表質問 総合計画にSDGsをどう位置付けて、
県民への啓発をどう進めていくのか?

知事答弁 ①SDGsは、誰一人取り残さない社会の実現を目指し、広範な社会課題に統合的に取り組むものであり、その考え方は、未来の千葉県を築いていくうえで欠かせないものであることから、総合計画案では、「SDGsの推進」を施策横断的な視点と位置付け、全庁を挙げて取り組むこととしているところです。

②また、県民には、今後、計画の冊子を作成する際に、計画案に掲げた183の主な事業分野とSDGsのゴールとのつながりを分かりやすく整理し、周知していきたいと考えています。

③さらに、県民一人ひとりがSDGsへの理解を深め、自発的な取組を行っていただけるよう、**チーバくんのSDGsのシンボルマーク**を活用して、県民向けのイベント等、あらゆる機会を捉えて啓発を実施してまいります。



代表質問 自主財源の
確保にどう取り組むのか?

知事答弁 ①県税収入のために社会資本の整備をし経済の活性化をさせます。②県税徴収率の中長期的な目標を立てて税収増加を図はかります。③未利用県有地の処分促進や効率的な資金運用など様々な手法で確保に努めます。

★**県有施設(大型施設・一部施設・小規模)にネーミングライツ(命名権)の導入の検討を進めるべきだと要望しました。**

代表質問 未来を担う子どもたちへの
啓発が重要と思うがどうか?

部長答弁 ①チーバくんのSDGsのシンボルマークを活用したポスターを全小中学校に配布します。②県HPIにSDGsに関する子ども用ページを開設して理解と関心を深めます。

県は、県内に事務所を置く企業・団体・教育機関・学校法人・特定非営利法人・個人事業主を対象とした「**ちばSDGsパートナー登録制度**」を創設。1月 登録件数365件(柏市14件・我孫子市4件)
2月 約600件～申請中

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



チーバくんの
ピンバッジ増産を
要望しています



ちばSDGs パートナー登録制度

県内企業等におけるSDGs推進の機運を醸成するとともに、具体的な取組を後押しするための制度です。SDGsに積極的に取り組む県内企業等が登録され、その取組が県のホームページ等で広く発信されます。

県民の皆様の思いを受けて 2/24 代表質問に立つ

質問 37項目

1. 知事の政治姿勢について

総合計画 SDGs 自主財源の確保

2. 新型コロナウイルス感染症対策について

自宅療養者支援 ワクチン接種 潜在看護師

3. 中小企業支援について

千葉県中小企業等事業継続支援金

感染拡大防止対策協力金

事業継続計画BCP

4. 県土づくりについて

千葉北西連絡道路

県立柏の葉公園の民間活力導入

5. 県土を守る減災対策について

盛り土問題 路面下空洞調査 流域治水

6. 障がい者理解と支援について

パーキングパーミット 障がい者文化芸術

視覚障害聴覚障害の情報バリアフリー 盲ろう者支援

重症心身障害児者支援

7. 社会的養護について

里親

8. 孤独・孤立対策について

9. ヤングケアラーについて

10. 医療政策について

HPVワクチン 移行期医療 薬不足問題

11. RPAの推進について

(ロボティック・プロセス・オートメーション)

12. 千葉県版レッドデータブックについて

13. 水道管塗料の規格外原料使用について

14. 教育問題について

教員の魅力発信 小学校高学年教科担任制

15. 治安対策について

飲酒運転根絶へ 特殊詐欺防止

16. その他



…本紙に掲載している質問

Q、感染症対策について

自宅療養者が安心して療養できるように
どう取り組んでいるのか

- ①自宅療養者を含む感染者に対して、携帯電話のショートメッセージを活用し、自宅療養中の注意事項など、療養に必要な情報を提供するシステムの運用を開始
- ②健康不安等に対して、医師や看護師等が電話やチャットにより対応する相談窓口を設置するとともに、容体変化の兆候を速やかに把握するための**パルスオキシメーターの貸出し**や、外出できない生活の不便さを軽減するための**配食サービス**を実施している。

県立学校の教員を含めた県職員等への
職域追加についてどう考えているか

県民サービスに支障が生じないように4月上旬からの実施に向けて意向調査をしており、計画的かつ安全な接種に向けて準備する。

Q、障がい者理解と支援について

①ちば障害者等用駐車区画利用証 (パーキングパーミット)制度

オレンジ色は、期限付き(妊産婦・けが人)
青色は無期限(障害者・高齢者・難病者)
9,000枚発行(柏市で約360枚)



②障害者芸術文化支援センターの実施団体を選定し、相談対応や指導者の育成やネットワークづくり 発表の機会の創出等を行っているが、委託が1年更新は実績の積み上げ・継承に課題を感じる。**3~5年事業者選定を検討すべきと要望。**

③視覚障害・聴覚障害者の情報バリアフリー環境の整備を? 視覚障害の方へは、音声読み上げ・点訳音訳事業・朗読奉仕員の育成等。聴覚障害の方には、手話通訳・字幕提供等を行っている。

④盲ろう者が安心して生活できるように支援を強化すべき? 令和4年度から新たに盲ろう者向け相談支援事業を開始する。

あべ俊昭が2020年6月議会で、長期化する新型コロナウイルス感染症の影響により、売上が30%~40%~減の事業者(例えば理美容業の生活衛生関連業など)への支援を要望...さらに2021年4月にも柏市の現場を回ってきた実感から、東京都を例に**売上30%減事業者など幅広く支援金を提案し実現できました。**

49,000件申請

Q、千葉県中小企業等事業継続支援金の総括は?

①県では、県民日よりや各種広報紙等への掲載、新聞・インターネット等での広告を行ってきたほか、商工会議所等の協力を得ながら、県内15か所で説明会・相談会を開催するなど、県内各地の幅広い事業者が円滑に申請できるよう取り組んできた。②締め切りまでに、約49000件の申請(**支給総額は100億円を超える**)。③申請があった業種は、理容・美容業や小売業をはじめ300以上に及んでおり、感染症の影響を受けた多様な事業者の方々が、事業の継続や立て直しに本支援金を役立てていただいたものと考えている。

売上減30%以上の事業者を対象にした国の事業復活支援金申請が始まっているが、長引く場合は千葉県中小企業等事業継続支援金第2弾も検討してほしい。



法改正した時から、あべは民間資金を活用して新たな整備・管理方法としてのパークPFIで賑わいの創出・税制負担軽減を後押ししてきた。

Q、柏の葉公園民間活力導入の予定は？

A、B、C-1、C-2のエリアに飲食・物販や、運動施設（都市型スポーツなど）

民間事業者がより参入しやすい公募条件となるよう、事業者からご意見をもらい、その結果を踏まえ、外部有識者の意見を伺って公募要項を確定し、**3月末の事業公募開始**を目指していく。引き続き、民間活力により、魅力あふれる新たな公園施設の導入に努めていく。



国では、公明党がヤングケアラー支援を強く訴えて2022年度から3年間が集中取り組み期間に。

Q、ヤングケアラーの支援にどう取り組むのか

①支援を適切に行うためには、県内の実態を把握し、支援にあたっての課題を明らかにするとともに、広く問題意識を喚起することが重要である。②一般社団法人地方自治研究機構との共同研究として、広く県内の子供たちを対象とした**実態調査を実施**することとしており、この結果をもとに適切な支援体制の構築に向けた検証や検討を行っていきたい。③福祉、介護、医療、教育等幅広い関係機関を対象にし、グループワークや研修を進める。

自身がヤングケアラーとの自覚がない子供たちへの理解・啓発を進めてほしい。



子宮頸がん罹患する女性は年間約1万人おり約2800人がお亡くなりになっている → 再開へ

Q、HPVワクチン接種の積極的勧奨を

県では、子宮頸がんワクチンの定期接種の推進に向けて、各市町村の積極的勧奨の実施状況を調査した上で、市町村の実情に合わせて、対象者等に幅広く実施されていくように働きかけていく。



Q、教員の魅力発信を

① 県教育委員会としても、教員の確保に向けて、仕事の魅力発信は重要であると認識しており、高校や大学での出前講座や動画共有サービス等により、現役教員が、児童・生徒の成長に関わった喜びや、やりがいを感じたエピソードなど生の声を伝えている。②出前講座の参加者からは、「教員は素敵な仕事だと感じた」「千葉の先生として働いてみたい」などの感想を頂いていて、今年度は講座回数を、昨年度より32回増やし、133回実施している。また、昨年度から配信している動画共有サービスの再生回数は、**約25,000回**となっている。③ 今後も、各取組の効果を検証し、さらに内容の改善を図りながら、教員の仕事の魅力を効果的に発信し、優れた人材の確保につなげていく。

人材確保のために教員採用選考や説明会ではどのような工夫？

名古屋、盛岡における県外会場での実施や、受験可能年齢の拡大等を行っております。また、採用選考の説明会においては、選考のポイントだけでなく、給与面や福利厚生等についても、丁寧に説明をしています。



令和3年の特殊詐欺の認知件数1,103件

- ・オレオレ詐欺が324件
 - ・預貯金詐欺311件
 - ・増加する還付金詐欺が206件
- 被害額は26億700万円



Q、電話de詐欺防止は？

① 電話de詐欺では、身内になりすます手口が多く使われているため、県では、テレビCMや啓発物資等を用いた広報に加え、小学生から祖父母等へのハガキの送付やSNSを活用した**家族間のコミュニケーション**等を通じて、注意喚起がなされるよう取り組んでいる。②犯人と会話をしないことが被害防止に有効なため、来年度は新たに、留守番電話機能や着信時に警告を発し通話を録音する機能を備えた機器を購入する場合の費用等を、市町村を通じて助成する。

